

また、「うるま市水道施設耐震化計画」に基づき災害に強い水道施設の整備に取り組みます。

下水道については、快適な生活環境や河川等の水質保全を図るため、公共下水道整備計画に基づき整備事業を実施するとともに、接続率の向上に努めます。

また、「うるま市公共下水道長寿命化計画」に基づき、下水道施設の整備を実施します。

排水路については、与那城西原排水路の整備を引き続き実施するとともに、照間地区排水路整備事業及び石川山城地区排水路付替事業を実施します。

公園については、ヌーリ川公園及びびうまんちゅ健康文化交流広場整備事業に引き続き取り組むとともに、新たに川崎公園整備事業に着手するほか下原地区スポーツ広場の事業化に向けた調査を実施します。

また、計画的な公園整備を推進するため、「うるま市公園整備プログラム」の策定に取り組みます。

さらに既存の公園については、「うるま市公園施設長寿命化計画」に基づき都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を実施するとともに、自治会などと協働し公園里親制度による管理に取り組みます。

世界遺産勝連城跡及び周辺地域については、歴史・文化を軸とした体験・交流型の観光振興、本市特産品等の販売をおとした地域振興を図るため、勝連

城跡周辺文化観光拠点整備事業を引き続き推進します。

## 第2 郷土に誇りを持ち、明日のうるま市を支える人を育てます

学校教育については、学習指導要領における教育内容を踏まえ「明日を拓く夢のある人材育成」を目標に、知・徳・体の調和のとれた幼児児童生徒の育成を目指します。

また、学力向上については、各小中学校に学力向上学習支援員を配置し、児童生徒に学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、自ら学び、自ら考える力を高められるよう引き続き取り組みます。

彩橋小中学校については、市内全域から入学・転入学を認める「小規模特認校制度」を本市で初めて導入し、小規模で小中併設校の良さを生かした特色ある学校づくりに取り組みます。

安心で安全な学校づくりについては、幼児児童生徒が学校内外で安心して生活できるよう、スクールソーシャルワーカーを配置するとともに、学校、家庭、行政、地域の連携による支援ネットワークの構築に引き続き取り組みます。

経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対しては、必要な就学援助を行い、円滑な義務教育の推進に努めます。

学校給食については、安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供します。

また、旬の食材や地元食材の活用、沖繩の年中行事食を取り入れた食育の普及・啓発に努めます。

教育研究所においては、教職員の研修を充実させるとともに、悩みを抱える子どもや保護者及び教職員を支援するため、教育相談や適応指導に取り組む、小中学校における不登校問題の改善に努めます。

学校施設については、伊波小学校校舎・体育館、伊波幼稚園、彩橋幼稚園の増改築事業に引き続き取り組みます。

本年度、小中学校については、新たに高江洲小学校校舎・体育館・水泳プール、天願小学校校舎・体育館・水泳プール、与勝中学校体育館、幼稚園については、高江洲幼稚園、平敷屋幼稚園、勝連幼稚園の設計業務を実施します。

また、子どもたちが安全に学べる環境整備を図るため、耐力度調査・耐震診断が未実施である小中学校及び幼稚園については、本年度実施します。

生涯学習については、「うるま市まちづくり生涯学習推進基本計画」に基づき、市民一人ひとりが生涯を通じて生きがいのある心豊かな生活が送れるよう学習の機会や情報を提供するとともに、社会教育団体等と連携し、生涯学習まちづくりを推進します。

また、生涯学習の拠点となる生涯学習センターについては、本年度に造成工事を実施します。

生涯スポーツについては、市民が日々健康な生活が送れるよう各種スポーツ

教室やスポーツ大会を開催するとともに、関係団体と連携し生涯スポーツの活性化に取り組みます。

また、石川及び具志川野球場の施設機能を強化し、スポーツコンベンションによる地域スポーツの活性化に取り組みます。



うるま市陸上競技大会

図書館については、生涯学習の情報センターとして位置付け、市民の生涯にわたる自己学習を援助し、生活課題の解決と文化の進展に寄与する図書館づくりに努めます。

青少年の健全育成については、家庭・学校・行政機関・事業所などと連携を図り、相談活動・街頭活動及び支援活動を実施します。

文化振興については、市民の文化活